

# 病院事業会計

(公営企業会計)



## 1 業務状況（第1表 診療科別医業収益の状況参照）

### (1) 患者数の状況

当年度の入院及び外来を合わせた年間延患者数は 304,423 人で、前年度と比べて 4,063 人 (1.3%) 減少している。このうち入院患者数は 102,172 人で、前年度より 1,983 人 (1.9%) 減少し、外来患者数も 202,251 人で、前年度より 2,080 人 (1.0%) 減少している。

一日当たりの平均入院患者数は 279.9 人で、前年度より 5.5 人 (1.9%) 減少し、外来患者数も 832.3 人で前年度より 12 人 (1.4%) 減少している。

#### 【公立能登総合病院】

項目	年度	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (C) (C=B-A)	増減率(%) (C/A×100)
		年間延患者数(人)	294,015	308,486	304,423	△ 4,063
	入院	100,574	104,155	102,172	△ 1,983	△ 1.9
	外来	193,441	204,331	202,251	△ 2,080	△ 1.0
一日平均患者数(人)		1,071.6	1,129.7	1,112.2	△ 17.5	△ 1.5
	入院	275.5	285.4	279.9	△ 5.5	△ 1.9
	外来	796.1	844.3	832.3	△ 12.0	△ 1.4
病床稼働率(%)		63.5	65.8	64.5	△ 1.3	△ 2.0
	一般	74.0	77.5	76.4	△ 1.1	△ 1.4
	精神	31.2	29.4	27.8	△ 1.6	△ 5.4
	感染症	7.8	2.8	4.0	1.2	42.9
平均在院日数(日)		17.7	17.5	17.4	△ 0.1	△ 0.6
	一般	16.0	16.0	16.0	0.0	3.0
	精神	81.9	69.1	61.7	△ 7.4	△ 10.7
	(感染症)	(6.3)	(6.3)	(10.0)	3.7	58.7

(注) ・ 令和4年度末現在の病床数 : 434床(一般 330床、精神100床、感染症4床)

・ 令和4年度診療日数 : 入院 365日、外来243日

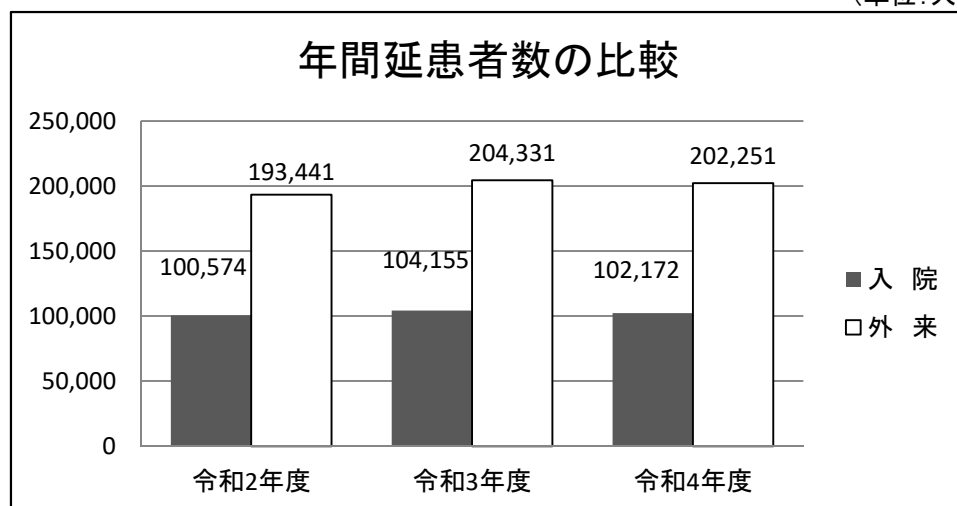
・ 病床稼働率の欄は、新型コロナウイルス感染症患者について感染症病床のほかに、新たに感染症病床として確保した一般病床にも含めている。

・ 平均在院日数については、(感染症)は一般の内数となっている。

#### 【診療所】

	七尾市国民健康保険直営能登島診療所			七尾市国民健康保険直営鉦打診療所		
	令和3年度	令和4年度	増減	令和3年度	令和4年度	増減
延外来患者数	2,234人	2,150人	△ 84人	93人	74人	△ 19人
一日平均	11.7人	11.4人	△ 0.3人	2.1人	1.8人	△ 0.3人
診療日数	191日	188日	△ 3日	45日	41日	△ 4日

(単位:人)



## (2) 職員数の状況

当年度末の職員数は625人(正規職員506人、会計年度任用職員119人)で、前年度と比べて7人減少している(正規職員4人増、会計年度任用職員11人減)。

職種では、正規職員で医師53人(前年同数)、看護師等313人(対前年度比1人減)、医療技師等55人(対前年度比2人増)、放射線技師14人(対前年度比1人減)などとなっている。

会計年度任用職員では、医師4人(対前年度比1人減)、看護師等63人(対前年度比9人減)、放射線技師は対前年度比1人減となっている。

### 職員数の状況

区分	正規職員				会計年度任用職員				計			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度増減	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度増減	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度増減
医師	52	53	53	0	7	5	4	△1	59	58	57	△1
看護師等	318	314	313	△1	71	72	63	△9	389	386	376	△10
薬剤師	10	10	10	0	0	0	0	0	10	10	10	0
放射線技師	16	15	14	△1	2	1	0	△1	18	16	14	△2
臨床検査技師	18	18	19	1	0	0	0	0	18	18	19	1
管理栄養士・調理師等	12	13	15	2	18	18	17	△1	30	31	32	1
医療技師等	55	53	55	2	1	1	4	3	56	54	59	5
事務員等	27	26	27	1	30	33	31	△2	57	59	58	△1
全職員数	508	502	506	4	129	130	119	△11	637	632	625	△7

(3) 施設等及び医療器械等の整備状況(税込み)

建設改良費は2億4,597万3千円で、前年度と比べて4,752万6千円(16.2%)減少している。内訳は、器械備品として、広角眼底観察システム2,398万円、一般X線撮影間接変換FPD装置1,716万円、血管撮影システム4,609万円、オンライン資格認証システム594万8千円が主なものである。

保存修繕工事等は9,151万1千円で、前年度と比べて1,979万2千円(17.8%)減少している。内訳は、一般修繕として医療ガス治療用空気供給設備修繕2,409万円、院内空調熱源設備(RS及びRA)定期整備1,068万9千円、感染症専用病棟(4床部屋3室)陰圧設備工事173万8千円が主なものである。

【公立能登総合病院】

区 分	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A ×100)	備 考
	千円	千円	千円	千円	%	
建設改良費 (資本的支出)	214,991	293,499	245,973	△ 47,526	△ 16.2	
器械備品	211,405	290,419	235,692	△ 54,727	△ 18.8	
医療用 器械備品	209,260	271,994	227,398	△ 44,596	△ 16.4	広角眼底観察システム 23,980千円 一般X線撮影間接変換FPD装置 17,160千円 血管撮影システム 46,090千円
医療外 器械備品	2,145	15,400	638	△ 14,762	△ 95.9	レセプトコンピュータ (鉋打診療所) 638千円
病院医療情 報システム	0	0	5,948	5,948	皆増	オンライン資格認証システム 5,948千円
診療所医療 情報システム	0	3,025	429	△ 2,596	△ 85.8	オンライン資格認証システム (能登島診療所) 429千円
車 両	0	0	1,279	1,279	皆増	診察用車両 1,279千円
建 物 等	3,586	3,080	10,281	7,201	233.8	
建 物	3,586	3,080	10,281	7,201	233.8	非常放送設備更新工事 1,028万1千円
保存修繕工事等	100,983	111,303	91,511	△ 19,792	△ 17.8	
医療器械等	20,769	28,273	30,418	2,145	7.6	放射線治療装置修理(3件) 9,395千円
一般修繕	78,685	81,538	59,675	△ 21,863	△ 26.8	医療ガス治療用空気供給設備 修繕 2,409万円 院内空調熱源設備(RS及びRA) 定期整備 1,068万9千円 感染症専用病棟(4床部屋3室) 陰圧設備工事 173万8千円
自動車修繕	1,529	1,492	1,418	△ 74	△ 5.0	車検整備等

【診療所】

区 分	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A ×100)	備 考
非常放送設備更新 工事	55	45	0	△ 45	皆減	

## 2 予算執行状況

### (1) 収益的収入及び支出(税込み)

病院事業収益の予算額 94 億 5,894 万 4 千円に対して決算額は 102 億 4,232 万 3 千円となっている。病院事業費用の予算額 90 億 93 万 9 千円に対して決算額は 86 億 5,166 万 2 千円となっている。

#### 収益的収入の状況

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する決算額の増減	
			金 額	主な内訳
病院事業収益	千円 9,458,944	千円 10,242,323	千円 783,379	
医 業 収 益	7,974,653	8,277,299	302,646	入院収益 143,447千円 外来収益 159,403千円 その他医業収益 △204千円
医 業 外 収 益	1,479,728	1,960,461	480,733	受取利息配当金 △1,966千円 補助金 465,859千円 負担金交付金 △ 823千円 長期前受金戻入 △ 8,140千円 その他医業外収益 25,803千円
特 別 利 益	4,563	4,563	0	固定資産売却収益 4,563千円 その他特別利益 △4,563千円

#### 収益的支出の状況

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	
			金 額	主な内訳
病院事業費用	千円 9,000,939	千円 8,651,662	千円 349,277	
医 業 費 用	8,655,257	8,309,608	345,649	給与費 178,531千円 材料費 63,708千円 経費 75,353千円 減価償却費 14,389千円 研究研修費 13,667千円
医 業 外 費 用	293,270	289,642	3,628	支払利息及び企業債取扱諸費 1,139千円 雑損失 807千円 消費税 337千円 長期前払消費税償却1,345千円
特 別 損 失	52,412	52,412	0	

(2) 資本的収入及び支出(税込み)

資本的収入の予算額 15 億 124 万 4 千円に対して決算額は 6 億 1,534 万 9 千円であり、8 億 8,589 万 5 千円の減で、収入率は 41.0%となっている。

資本的支出の予算額 21 億 317 万 9 千円に対して決算額は 12 億 2,273 万 5 千円であり、翌年度繰越額は 7 億 1,122 万 3 千円である。1 億 6,922 万 1 千円の不用額が生じ、執行率は 58.1%となっている。

資本的収入と資本的支出の差し引き額で不足する額 6 億 738 万 6 千円は、過年度分損益勘定留保資金 3 億 3,519 万 9 千円、減債積立金 2 億 7,218 万 7 千円で補填している。

区 分	予 算 額	決 算 額	収 入 率	予算額に対する決算額の増減	
				金 額	主な内訳
資 本 的 収 入	千円 1,501,244	千円 615,349	% 41.0	千円 △ 885,895	
企 業 債	1,017,700	171,500	16.9	△ 846,200	建設改良に要する企業債 △ 846,200千円
他会計補助金	48,250	8,250	17.1	△ 40,000	
他会計負担金	356,603	356,603	100.0	0	
寄 附 金	1	0	0.0	△ 1	
投資回収金	100	225	225.0	125	
補 助 金	53,648	53,828	100.3	180	
固定資産売却代金	24,942	24,943	100.0	1	

資本的支出の状況

区 分	予 算 額	決 算 額	執 行 率	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	
					金 額	主な内訳
資 本 的 支 出	千円 2,103,179	千円 1,222,735	% 58.1	千円 711,223	千円 169,221	
建設改良費	1,122,546	245,972	21.9	711,223	165,351	器械備品購入費 160,990千円 車両購入費 521千円 工事請負費 3,840千円
企業債償還金	971,541	971,541	100.0	0	0	建設改良に要する 企業債償還金 1千円
投 資	9,092	5,222	57.4	0	3,870	長期貸付金 3,360千円 その他投資 510千円

### (3) 企業債に関する状況

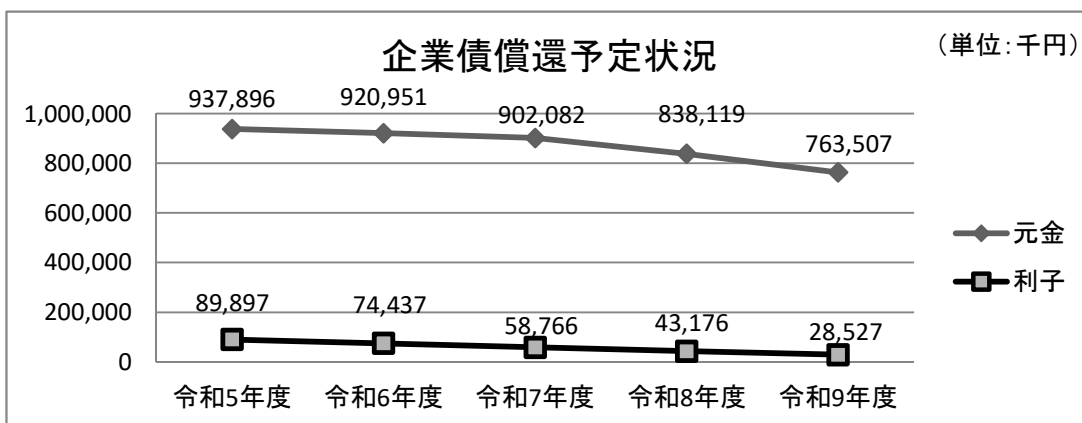
前年度の未償還残高 60 億 8,397 万 9 千円から、令和 4 年度は 9 億 7,154 万円償還したが、医療機器整備事業及び施設整備事業に伴い、本年度は 1 億 7,150 万円の新規借り入れを行っている。その結果、本年度の未償還残高は 52 億 8,393 万 9 千円となっている。

#### 企業債明細書

区 分	令和3年度末現債額		令和4年度借入額		令和4年度償還額		令和4年度末現債額	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
病院移転新築事業債	5	4,470,700			5	616,314	5	3,854,386
隔離病舎整備事業債	4	45,229			4	5,991	4	39,237
医療機器整備事業債	5	669,604	1	161,300	4	190,978	5	639,926
精神病棟移転事業債	2	632,641			2	66,567	2	566,075
人工透析増築事業債	2	77,223			2	10,448	2	66,775
診療棟等増築事業債	1	44,000			1	44,000	0	0
精神センター増築改修事業債	1	41,200			1	20,600	1	20,600
施設整備事業債	5	103,382	1	10,200	4	16,642	6	96,940
合 計	25	6,083,979	2	171,500	23	971,540	25	5,283,939

#### 企業債償還予定（向こう5カ年分）

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
企業債償還元金	937,896	920,951	902,082	838,119	763,507
企業債償還利子	89,897	74,437	58,766	43,176	28,527
合 計	1,027,793	995,388	960,848	881,295	792,034





### 3 経営状況（第2表 比較損益計算書参照）

#### (1) 概況

当年度の経営状況（損益計算）は、事業収益 102 億 1,077 万円に対し、事業費用は 86 億 2,425 万 8 千円で、差し引き 15 億 8,651 万 2 千円の純利益となっている。

この結果、前年度繰越利益剰余金 35 億 5,941 万 8 千円、その他未処分剰余金変動額 2 億 7,218 万 7 千円を合せて当年度未処分利益剰余金は 54 億 1,811 万 7 千円となっている。

#### 経営成績（税抜き）

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		前年度対比(増減)	
	金 額	構成比	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A× 100)
事 業 収 益	千円 10,640,521	% 100.0	千円 10,352,031	% 100.0	千円 10,210,770	% 100.0	千円 △ 141,261	% △ 1.4
医 業 収 益 (A)	7,559,615	71.1	7,979,351	77.1	8,254,462	80.8	275,111	3.4
医 業 外 収 益 (B)	3,077,881	28.9	2,372,680	22.9	1,951,745	19.1	△ 420,935	△ 17.7
特 別 利 益 (C)	3,025	0.0	0	0.0	4,563	0.1	4,563	皆増
事 業 費 用	8,559,559	100.0	8,473,575	100.0	8,624,258	100.0	150,683	1.8
医 業 費 用 (D)	8,126,660	94.9	8,066,465	95.2	8,178,043	94.8	111,578	1.4
医 業 外 費 用 (E)	402,251	4.7	407,110	4.8	393,803	4.6	△ 13,307	△ 3.3
特 別 損 失 (F)	30,648	0.4	0	0.0	52,412	0.6	52,412	皆増
医 業 損 失 (A)-(D)	567,045		87,114		0		△ 87,114	皆減
医 業 利 益 (A)-(D)	0		0		76,419		76,419	皆増
経 常 利 益 (A+B)-(D+E)	2,108,585		1,878,456		1,634,361		△ 244,095	△ 13.0
純 利 益 (事業収益-事業費用)	2,080,962		1,878,456		1,586,512		△ 291,944	△ 15.5
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金	0		1,880,963		3,559,418		1,678,455	89.2
そ の 他 未 処 分 剰 余 金 変 動 額	269,191		270,673		272,187		1,514	0.6
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	2,350,153		4,030,092		5,418,117		1,388,025	34.4
総 収 益 対 総 費 用 比 率	% 124.3		% 122.2		% 118.4		ポイント △ 3.8	
医 業 収 益 対 医 業 費 用 比 率	93.0		98.9		100.9		2.0	

## (2) 収益及び費用

事業収益のうち医業収益 82 億 5,446 万 2 千円(入院収益 51 億 6,557 万 9 千円、外来収益 25 億 8,794 万 7 千円、その他医業収益 5 億 93 万 6 千円)は、前年度の決算額 79 億 7,935 万 1 千円と比べて 2 億 7,511 万 1 千円(3.4%)増加している。

これは、質の高い医療の提供により診療単価が増加したことから、その他医業収益 6,158 万円(10.9%)減少しているが、入院収益 2 億 1,741 万 5 千円(4.4%)、外来収益 1 億 1,927 万 6 千円(4.8%)増加したことによるものである。

また、医業外収益では 19 億 5,174 万 5 千円となり、前年度 23 億 7,268 万円と比べて 4 億 2,093 万 5 千円(17.7%)減少している。

これは、補助金が 4 億 5,379 万 7 千円(32.7%)減少などによるものである。

一方、事業費用のうち医業費用は 81 億 7,804 万 3 千円で、前年度 80 億 6,646 万 5 千円と比べて 1 億 1,157 万 8 千円(1.4%)増加している。

これは、給与費が 7,100 万 1 千円(1.5%)増加、経費が 2,988 万 5 千円(2.0%)増加、減価償却費 1,820 万 1 千円(4.9%)増加したことなどによるものである。

医業外費用 3 億 9,380 万 3 千円は、前年度 4 億 711 万円と比べて 1,330 万 7 千円(3.3%)減少している。

この結果、医業収益と医業費用との医業収支は、7,641 万 9 千円の医業利益となっている。前年度の医業損失が 8,711 万 4 千円であったのに対し、1 億 6,353 万 3 千円増加している。

医業利益に医業外収支 15 億 5,794 万 2 千円を加算した経常利益は、16 億 3,436 万 1 千円となり、前年度の経常利益 18 億 7,845 万 6 千円と比べて、2 億 4,409 万 5 千円(13.0%)減少している。

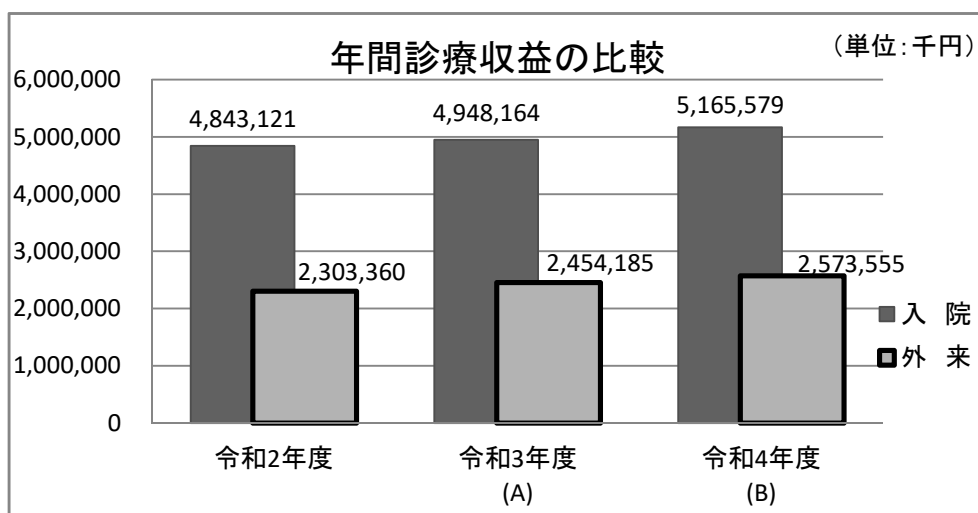
(3) 患者一人一日あたりの収益(税込み)

当年度の入院患者一人一日あたり収益は5万726円で、前年度と比べて3,114円(6.5%)増加している。また、外来患者一人一日あたり収益は1万2,725円で、前年度より714円(5.9%)増加している。

診療(入院・外来)収益比較表

【公立能登総合病院】

区 分		令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (C) (C=B-A)	増減率(%) (C/A×100)
診療日数(日)	入 院	365	365	365	0	0.0
	外 来	243	242	243	1	0.4
年間診療収益(千円)		7,146,481	7,402,349	7,739,134	336,785	4.5
	入 院	4,843,121	4,948,164	5,165,579	217,415	4.4
	外 来	2,303,360	2,454,185	2,573,555	119,370	4.9
1人1日あたり 収 益 (円)	入 院	48,310	47,612	50,726	3,114	6.5
	外 来	11,907	12,011	12,725	714	5.9



#### 4 財政状況（第3表 比較貸借対照表参照）

##### (1) 資産

当年度末の財政状況(貸借対照表)をみると、資産合計は190億8,753万6千円で、前年度の178億8,979万1千円と比べて11億9,774万5千円(6.7%)増加している。

固定資産は88億7,360万5千円で、前年度の91億2,233万9千円と比べ2億4,873万4千円(2.7%)減少している。

この固定資産の内訳では、建物が54億5,483万8千円で前年度より1億8,629万6千円(3.3%)減少、土地が19億2,538万5千円で前年度より6,218万8千円(3.1%)減少となっている。

また、流動資産は102億1,393万1千円で前年度の87億6,745万2千円と比べて14億4,647万9千円(16.5%)増加している。

この流動資産の内訳では、未収金が20億5,288万5千円で前年度より5億3,488万3千円(35.2%)増加している。

財政状況比較表(税抜き)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		前年度対比(増減)	
	金 額	構成比	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A× 100)
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
資 産 合 計	16,554,192	100.0	17,889,791	100.0	19,087,536	100.0	1,197,745	6.7
固 定 産	9,219,438	55.7	9,122,339	51.0	8,873,605	46.5	△ 248,734	△ 2.7
流 動 産	7,334,754	44.3	8,767,452	49.0	10,213,931	53.5	1,446,479	16.5

(2) 負債及び資本

負債資本合計は、190億8,753万6千円で、前年度の178億8,979万1千円と比べて11億9,774万5千円(6.7%)増加している。

これは、負債合計が95億3,021万6千円で、前年度の99億7,463万9千円と比べて4億4,442万3千円(4.5%)減少している。

この負債合計の内訳では、固定負債が59億2,476万円で、前年度の65億4,512万5千円と比べて6億2,036万5千円(9.5%)減少している。

資本合計は、95億5,732万円で、前年度の79億1,515万2千円と比べて16億4,216万8千円(20.7%)増加している。

この資本合計の内訳では、剰余金が67億3,644万5千円で、前年度の53億6,495万円と比べて13億7,149万5千円(25.6%)増加している。

財政状況比較表(税抜き)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		前年度対比(増減)	
	金 額	構成比	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C=B-A)	増減率 (C/A ×100)
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
負 債 資 本 合 計	16,554,192	100	17,889,791	100	19,087,536	100	1,197,745	6.7
負 債 合 計	10,572,011	63.9	9,974,639	55.8	9,530,216	49.9	△ 444,423	△ 4.5
固 定 債	7,131,134	43.1	6,545,125	36.6	5,924,760	31.0	△ 620,365	△ 9.5
流 動 債	1,974,311	11.9	1,826,859	10.2	1,875,919	9.8	49,060	2.7
繰 上 延 益	1,466,566	8.9	1,602,655	9.0	1,729,537	9.1	126,882	7.9
資 本 合 計	5,982,181	36.1	7,915,152	44.2	9,557,320	50.1	1,642,168	20.7
資 本 金	2,281,011	13.8	2,550,202	14.2	2,820,875	14.8	270,673	10.6
剰 余 金	3,701,170	22.3	5,364,950	30.0	6,736,445	35.3	1,371,495	25.6

### (3) 個人診療費の未収金状況

当年度末現在の入院と外来を合わせた患者自己負担金の未収金は、1,568件の8,642万5千円となっている。前年度と比べると、件数は164件減、未収金額は1,041万6千円(10.8%)減少している。

現年度分については、前年度は5,563万5千円であったが、当年度は4,253万9千円と1,309万6千円(23.5%)減少している。

個人診療費の未収金状況表

【公立能登総合病院】

年度	R4.3.31現在 未 収		入金額 円	不 納 欠損額 円	R5.3.31現在 未 収		構成比 %	前年度対比		
	件数 件	未収金額 円			件数 件	未収金額 円		増減件数 件	増減額 円	伸び率 %
H18	3	554,873	22,540	0	3	532,333	0.6	0	△ 22,540	△ 4.1
H19	5	1,249,978	0	0	5	1,249,978	1.4	0	0	0.0
H20	9	1,274,424	260,720	0	8	1,013,704	1.2	△ 1	△ 260,720	△ 20.5
H21	12	1,305,221	16,000	0	12	1,289,221	1.5	0	△ 16,000	△ 1.2
H22	18	1,417,762	122,740	0	17	1,295,022	1.5	△ 1	△ 122,740	△ 8.7
H23	21	3,894,707	156,000	0	21	3,738,707	4.3	0	△ 156,000	△ 4.0
H24	33	4,843,360	0	0	33	4,843,360	5.6	0	0	0.0
H25	49	5,905,846	154,765	0	44	5,751,081	6.7	△ 5	△ 154,765	△ 2.6
H26	59	2,689,811	161,098	0	54	2,528,713	3.0	△ 5	△ 161,098	△ 6.0
H27	37	3,591,270	35,852	0	35	3,555,418	4.1	△ 2	△ 35,852	△ 1.0
H28	38	2,039,177	20,000	0	38	2,019,177	2.3	0	△ 20,000	△ 1.0
H29	53	1,572,160	273,857	0	47	1,298,303	1.5	△ 6	△ 273,857	△ 17.4
H30	52	3,245,663	147,450	0	47	3,098,213	3.6	△ 5	△ 147,450	△ 4.5
R1	53	4,108,815	177,695	0	48	3,931,120	4.5	△ 5	△ 177,695	△ 4.3
R2	61	3,512,777	728,450	0	48	2,784,327	3.2	△ 13	△ 728,450	△ 20.7
R3	1,229	55,634,838	50,678,119	-	88	4,956,719	5.8	△ 1,141	△ 50,678,119	△ 91.1
R4	-	-	-	-	1,020	42,539,304	49.2	1,020	42,539,304	皆増
計	1,732	96,840,682	52,955,286	0	1,568	86,424,700	100.0	△ 164	△ 10,415,982	△ 10.8

#### (4) 改革プランの目標達成状況について

「第6次経営改革のシナリオ ～公立能登総合病院改革プラン～」(令和3年度～令和5年度)の目標達成状況は、次のとおりとなっている。

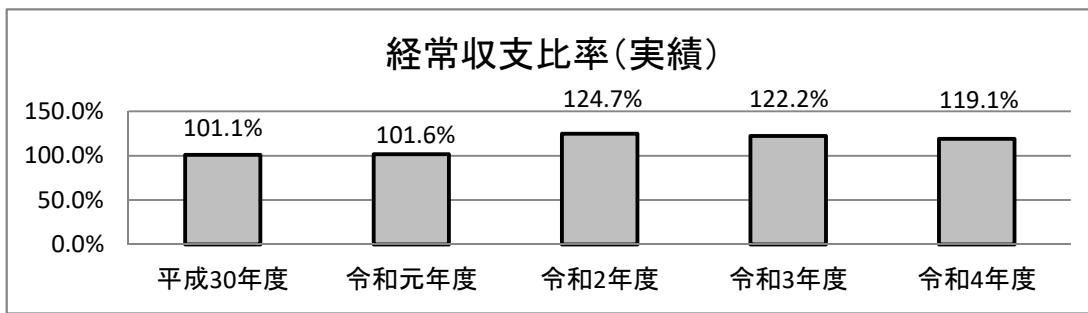
##### ア 経営指標に係る数値目標と実績

###### (ア) 経常収支比率

経常的な経営活動から生ずる経常収益で、経常費用を賅うことができるかを示す指標。この指標が100%を下回る幅が大きいほど赤字が大きい。

当年度の経常収支比率は119.1%で前年度と比べて3.1ポイント低くなっている。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度(目標)
101.1%	101.6%	124.7%	122.2%	119.1%	101.2%

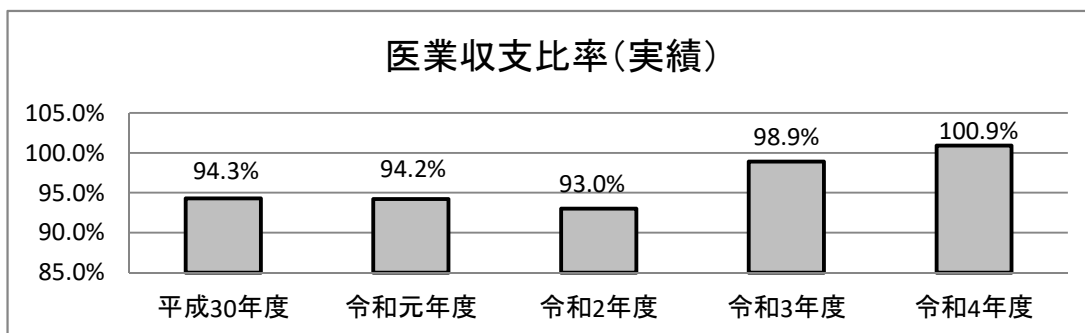


###### (イ) 医業収支比率

医業活動に要する費用である医業費用を、医業活動で得た収入である医業収益で賅うことができるかを示す指標。この指標が100%を下回る幅が大きいほど赤字が大きい。

当年度の医業収支比率は100.9%で、前年度と比べて2.0ポイント高くなっている。

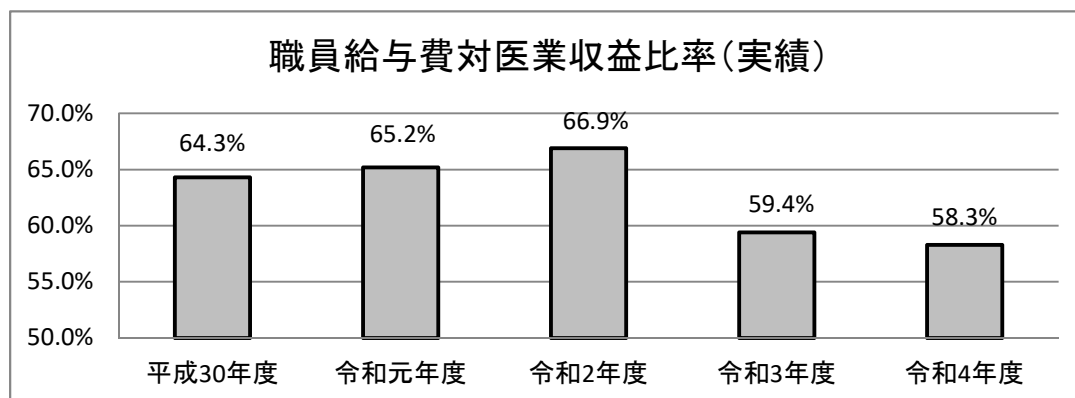
平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度(目標)
94.3%	94.2%	93.0%	98.9%	100.9%	94.0%



(ウ) 職員給与費対医業収益比率

当年度の医業収益に対する職員給与費の割合は58.3%で、前年度と比べて1.1ポイント低くなっている。

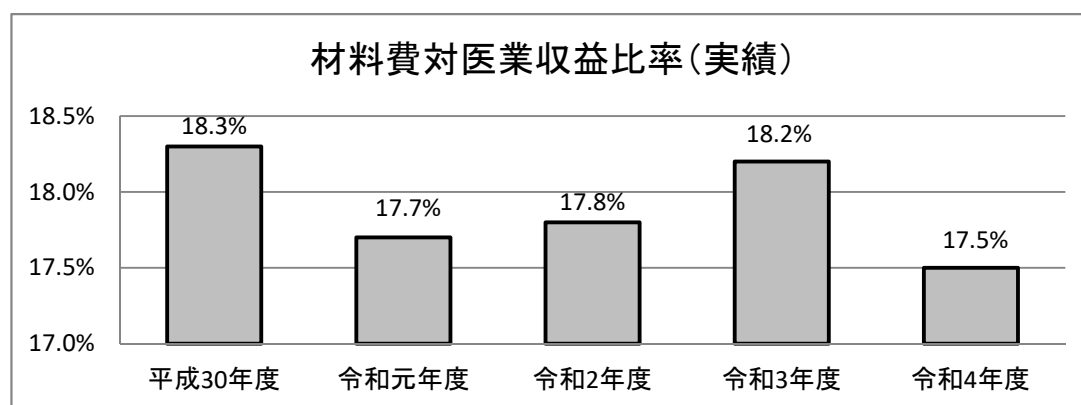
平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標)
64.3%	65.2%	66.9%	59.4%	58.3%	63.2%



(エ) 材料費対医業収益比率

当年度の医業収益に対する材料費の割合は17.5%で、前年度と比べて0.7ポイント低くなっている。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標)
18.3%	17.7%	17.8%	18.2%	17.5%	17.8%



※算出式

経常収支比率 = 経常収益 ÷ 経常費用 × 100

医業収支比率 = 医業収益 ÷ 医業費用 × 100

職員給与費対医業収益比率 = 職員給与費 ÷ 医業収益 × 100

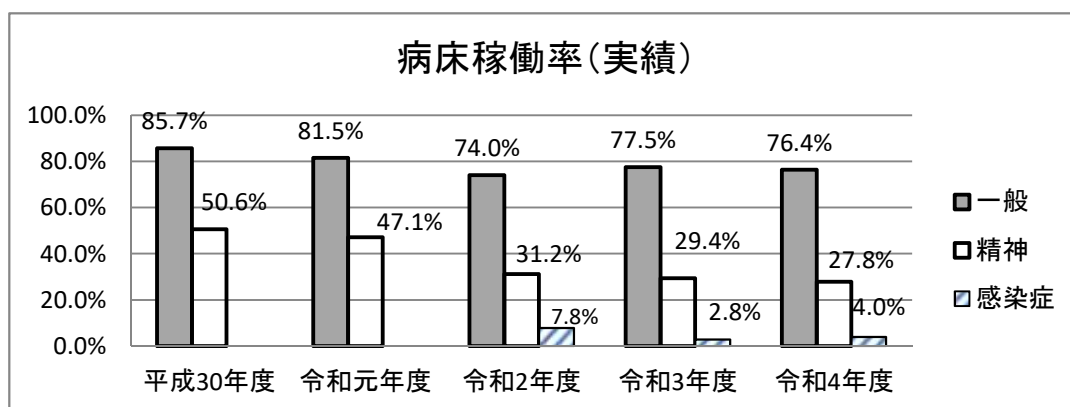
材料費対医業収益比率 = 材料費 ÷ 医業収益 × 100



(オ) 病床稼働率

当年度の年延病床数に対する年延入院患者数(一日退院患者含む)の割合(病床稼働率)は、一般病床 76.4%、精神病床 27.8%、感染症病床 4.0%で、前年度と比べて一般病床が 1.1 ポイント低く、精神病床は 1.6 ポイント低く、感染症病床は 1.2 ポイント高くなっている。

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標)
一般	85.7%	81.5%	74.0%	77.5%	76.4%	78.4%
精神	50.6%	47.1%	31.2%	29.4%	27.8%	34.0%
感染症	0.0%	0.0%	7.8%	2.8%	4.0%	0.0%



(カ) 患者一人あたり診療収入

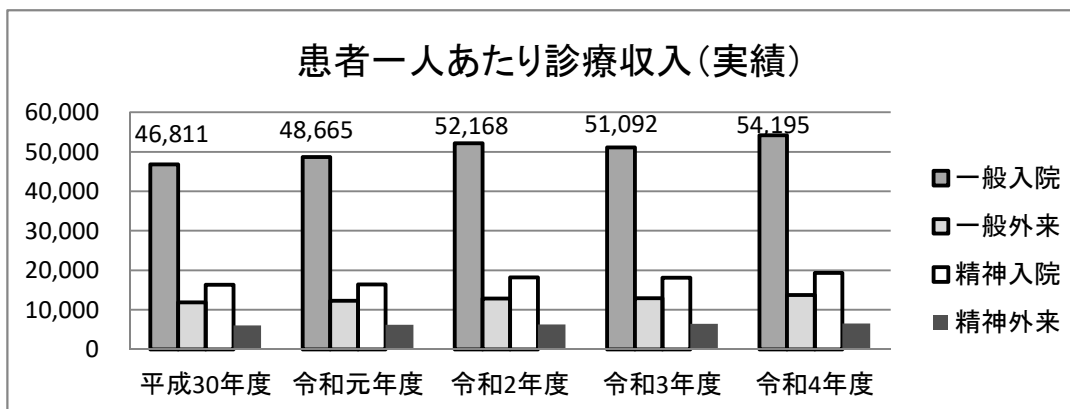
当年度の診療収入を延患者数で割った患者一人あたりの平均診療単価は、一般入院 54,195 円、一般外来 13,779 円で前年度と比べて一般入院が 3,103 円高く、一般外来は 819 円高くなっている。また、精神入院は 19,342 円、精神外来が 6,557 円で前年度と比べて精神入院が 1,185 円高く、精神外来が 93 円高くなっている。

【公立能登総合病院】

(単位:円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標)	
一般	入院	46,811	48,665	52,168	51,092	54,195	50,000
	外来	11,916	12,325	12,873	12,960	13,779	13,000
精神	入院	16,345	16,425	18,162	18,157	19,342	16,800
	外来	6,064	6,171	6,298	6,464	6,557	6,480

※ 感染症病床(4床)の入院については、一般の入院に含む。



イ 医療機能確保に関する数値目標と実績

(ア) 一日あたりの平均入院患者数

当年度の一日あたりの平均入院患者数は 279.9 人で、前年度と比べて 5.5 人減少している。

(単位:人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標)
一般	282.8	269.0	244.4	256.0	252.2	257.5
精神	50.6	47.1	31.2	29.4	27.7	34.0
合計	333.4	316.1	275.5	285.4	279.9	291.5

※人間ドック及び感染症病床(4床)を含む

※単位未満の四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある

(イ) 一日あたりの平均外来患者数

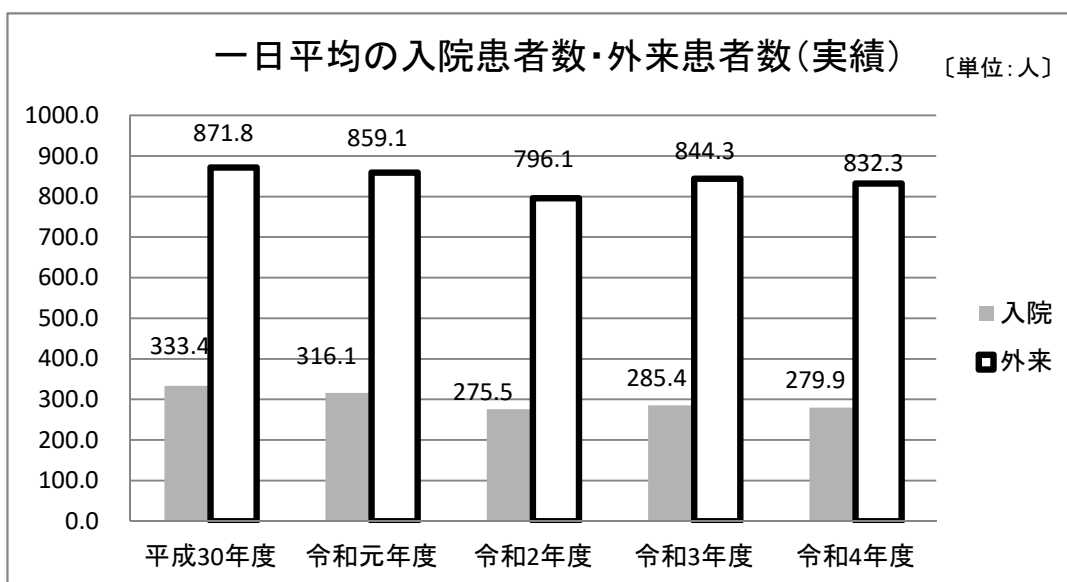
当年度の一日あたりの平均外来患者数は 832.3 人で、前年度と比べて 12.0 人減少している。

【公立能登総合病院】

(単位:人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標)
一般	756.7	741.8	679.1	720.9	710.8	680.0
精神	115.1	117.3	116.9	123.4	121.5	126.0
合計	871.8	859.1	796.1	844.3	832.3	806.0

※単位未満の四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある



(ウ) 臨床研修医受入れ人数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標)
8人	8人	6人	3人	2人	5人

## 5 意見

公立能登総合病院の患者数の状況をみると、年間延べ患者数は30万4,423人で、前年度と比べて4,063人（1.3%）減少しており、一日平均患者数は1,122.2人で、前年度より17.5人（1.5%）減少し、入院患者、外来患者ともに減少している。これは、新型コロナウイルス感染症の流行以前からあった減少傾向で、人口減少によるものと推定される。

平均在院日数は17.4日で、前年度より0.1日（0.6%）減少している。なお、精神病床では61.7日で、前年度より7.4日（10.7%）減少している。

経営状況をみると、事業収益は102億1,077万円で、前年度と比べて1億4,126万1千円（1.4%）減少しており、対する事業費用は86億2,425万8千円で、前年度より1億5,068万3千円（1.8%）増加している。この結果、当年度純利益は15億8,651万2千円で、前年度より2億9,194万4千円（15.5%）減少している。これは、医業利益が1億6,353万3千円増加したものの、新型コロナ関連の補助金など医業外収益が4億2,093万5千円（17.7%）減少したことによる。

経営指標をみると、入院患者一人一日あたり収益は5万726円で、前年度と比べて3,114円（6.5%）増加している。また、外来患者一人一日あたり収益は1万2,725円で、前年度より714円（5.9%）増加している。

医業費用が医業収益によって、どの程度賄われているかを示す医業収支比率は100.9%で、前年度より2.0ポイント高くなり黒字化している。今後も経営指標に係る数値を注視し、さらなる経営上の改善を図りたい。

次に、医業未収金においては、患者の自己負担額の未収金は8,642万5千円で、前年度より1,041万6千円（10.8%）減少している。未収金の内、コロナ患者分1,151万1千円は公費負担での収入が見込めることから、新型コロナウイルス流行前の一昨年（令和元年度未収金）と実質同レベルである。平成30年から法律事務所に医業未収金の回収業務を委託し、回収強化に取り組んできており、今後も、きめ細やかで迅速な納付相談など未収金の発生防止および早期回収に努められたい。

また、建設改良費については、急性期医療の砦として血管撮影システムや広角眼底観察システムなど高度医療機器等の整備に取り組む一方で、病院の非常放送設備の更新工事や診察用車両の購入を行っている。

その他、利用者が無く不要となっていた医師官舎の土地や建物を売却処分するなど、職員が意欲を持って働ける環境づくりとして、福利厚生施設の見直しを行っている。

結びに、このような状況下において、より質の高い医療の提供を目指し、診療単価が増加したことから、医業利益が23年ぶりに黒字化した。令和元年末から流行した新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日から感染症法上の分類が2類から5類に変更されたが、依然として感染防止対策が必要な状況は変わっていない。今後も、住民に信頼される安心で安全な地域医療を提供する公的基幹病院としての役割を期待し、持続可能な健全経営の確立に取り組んでいただきたい。



## 審査資料

第1表	診療科別医業収益の状況（税込み） .....	120
第2表	比較損益計算書（税抜き） .....	122
第3表	比較貸借対照表（税抜き） .....	124
第4表	キャッシュ・フロー計算書（税抜き） .....	126

(第1表) 診療科別医業収益の状況(税込み)

科別	入 院						
	延べ患者数	対前年度 伸 率	入院収益	対前年度 伸 率	一人当り 収 益	一日平均 患 者 数	平均在院 日 数
区分	人	%	円	%	円	人	日
内科	26,599	1.9	1,283,111,924	18.8	48,239	72.9	17.0
脳神経内科	2,141	△ 7.0	109,077,301	△ 10.2	50,947	5.9	23.5
循環器内科	13,528	3.0	747,301,323	7.9	55,241	37.1	24.6
小児科	775	△ 20.6	44,358,985	△ 14.5	57,237	2.1	3.8
外科	9,096	△ 4.6	557,428,152	△ 4.9	61,283	24.9	14.4
整形外科	18,048	△ 4.0	954,865,099	4.2	52,907	49.4	28.2
形成外科	2,436	13.8	119,987,120	7.7	49,256	6.7	18.2
美容外科	0	-	0	-	-	0.0	0.0
脳神経外科	11,179	0.0	684,587,768	3.7	61,239	30.6	26.0
皮膚科	725	0.0	29,541,490	19.1	40,747	2.0	12.9
泌尿器科	3,806	△ 12.7	222,353,346	△ 18.3	58,422	10.4	8.8
産婦人科	1,668	△ 20.7	112,626,064	△ 18.9	67,522	4.6	7.8
眼科	451	142.5	38,120,820	143.7	84,525	1.2	3.9
耳鼻いんこう科	819	△ 17.5	45,883,779	△ 16.3	56,024	2.2	7.8
放射線科	0	-	0	-	-	0.0	0.0
麻酔科	0	-	0	-	-	0.0	0.0
歯科口腔外科	430	△ 12.1	20,341,024	△ 23.4	47,305	1.2	4.9
人間ドック	340	△ 12.8	-	-	-	0.9	2.0
小 計	92,041	△ 1.5	4,969,584,195	4.5	54,193	252.2	17.0
精神科	10,131	△ 5.6	195,994,870	0.6	19,346	27.8	62.7
病 院 計	102,172	△ 1.9	5,165,579,065	4.4	50,726	279.9	18.3
能登島診療所	-	-	-	-	-	-	-
鉦打診療所	-	-	-	-	-	-	-
診療所計	-	-	-	-	-	-	-

外 来						合 計			
延べ患者数	対前年度 伸 率	外来収益	対前年度 伸 率	一人当り 収 益	一日平均 患者数	延べ患者数	対前年度 伸 率	収益金額	対前年度 伸 率
人	%	円	%	円	人	人	%	円	%
49,605	1.3	947,884,323	11.6	19,109	203.3	76,204	1.5	2,230,996,247	15.6
2,671	△ 3.4	91,139,342	126.8	34,122	10.9	4,812	△ 5.0	200,216,643	23.9
15,495	△ 2.4	199,395,878	△ 4.5	12,868	63.5	29,023	0.0	946,697,201	5.0
8,605	△ 0.7	105,831,383	15.2	12,299	35.3	9,380	△ 2.7	150,190,368	4.5
6,842	△ 0.7	172,149,212	△ 4.3	25,161	28.2	15,938	△ 3.0	729,577,364	△ 4.7
17,213	△ 2.8	177,809,789	1.7	10,330	70.8	35,261	△ 3.4	1,132,674,888	3.8
6,265	0.3	43,241,794	3.3	6,902	25.8	8,701	3.8	163,228,914	6.5
420	11.7	2,999,576	9.1	7,142	1.7	420	11.7	2,999,576	9.1
3,805	2.4	58,169,338	1.2	15,288	15.7	14,984	0.6	742,757,106	3.5
9,577	△ 5.3	37,849,324	△ 13.8	3,952	39.4	10,302	△ 4.9	67,390,814	△ 1.9
14,154	△ 0.9	238,361,040	△ 14.5	16,841	58.2	17,960	△ 3.7	460,714,386	△ 16.4
5,877	△ 1.5	37,812,093	6.3	6,434	24.2	7,545	△ 6.5	150,438,157	△ 13.7
7,952	14.5	56,592,288	46.7	7,117	32.7	8,403	17.8	94,713,108	74.6
9,482	△ 9.2	79,245,731	△ 2.6	8,357	39.0	10,301	△ 10.0	125,129,510	△ 8.1
1,617	△ 22.9	48,706,634	△ 11.8	30,122	6.7	1,617	△ 22.9	48,706,634	△ 11.8
70	△ 19.5	0	0.0	-	0.3	70	-	0	0.0
13,078	△ 1.9	82,792,979	3.0	6,331	53.8	13,508	△ 2.3	103,134,003	△ 3.5
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
172,728	△ 1.0	2,379,980,724	5.3	13,779	710.8	264,769	△ 1.2	7,349,564,919	4.8
29,523	△ 1.1	193,574,432	0.3	6,557	121.5	39,654	△ 2.3	389,569,302	0.4
202,251	△ 1.0	2,573,555,156	4.9	12,725	832.3	304,423	△ 1.3	7,739,134,221	4.5
2,150	△ 3.8	15,613,050	△ 0.4	7,262	11.4	2,150	△ 3.8	15,613,050	△ 0.4
74	△ 20.4	422,740	△ 16.3	5,713	1.8	74	△ 20.4	422,740	△ 16.3
2,224	△ 4.4	16,035,790	△ 0.9	7,210	-	2,224	△ 4.4	16,035,790	△ 0.9

(第2表) 比較損益

科 目	借		方		前年度対比(増減)	
	令和4年度		令和3年度		前年度対比(増減)	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C = A - B)	増減率 (C/B× 100)
	円	%	円	%	円	%
<b>1 医業費用</b>	<b>8,178,043,458</b>	<b>94.8</b>	<b>8,066,465,320</b>	<b>95.2</b>	<b>111,578,138</b>	<b>1.4</b>
(1) 給与費	4,809,340,555	55.8	4,738,339,437	55.9	71,001,118	1.5
(2) 材料費	1,447,083,470	16.8	1,453,425,638	17.2	△ 6,342,168	△ 0.4
(3) 経費	1,510,690,115	17.5	1,480,804,699	17.5	29,885,416	2.0
(4) 減価償却費	391,145,204	4.5	372,944,525	4.4	18,200,679	4.9
(5) 資産減耗費	6,937,950	0.1	8,344,517	0.1	△ 1,406,567	△ 16.9
(6) 研究研修費	12,846,164	0.1	12,606,504	0.1	239,660	1.9
<b>2 医業外費用</b>	<b>393,802,511</b>	<b>4.6</b>	<b>407,110,242</b>	<b>4.8</b>	<b>△ 13,307,731</b>	<b>△ 3.3</b>
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	104,779,899	1.2	119,763,005	1.4	△ 14,983,106	△ 12.5
(2) 長期前払消費税償却	18,417,206	0.2	16,516,395	0.2	1,900,811	11.5
(3) 雑損失	270,605,406	3.2	270,830,842	3.2	△ 225,436	△ 0.1
<b>3 特別損失</b>	<b>52,411,732</b>	<b>0.6</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>52,411,732</b>	<b>皆増</b>
(1) その他特別損失	2,372,000	0.0	0	0.0	2,372,000	皆増
(2) 固定資産売却損	50,039,732	0.6	0	0.0	50,039,732	皆増
<b>事業費用合計</b>	<b>8,624,257,701</b>	<b>100.0</b>	<b>8,473,575,562</b>	<b>100.0</b>	<b>150,682,139</b>	<b>1.8</b>
<b>当年度純利益</b>	<b>1,586,511,864</b>		<b>1,878,456,143</b>		<b>△ 291,944,279</b>	<b>△ 15.5</b>
<b>合計</b>	<b>10,210,769,565</b>		<b>10,352,031,705</b>		<b>△ 141,262,140</b>	<b>△ 1.4</b>
当年度純利益	1,586,511,864		1,878,456,143		△ 291,944,279	△ 15.5
前年度繰越利益剰余金	3,559,418,537		1,880,962,394		1,678,456,143	89.2
その他未処分利益剰余金変動額	272,187,000		270,673,000		1,514,000	0.6
当年度未処分利益剰余金	5,418,117,401		4,030,091,537		1,388,025,864	34.4



計 算 書 (税抜き)

科 目	貸		方		前年度対比(増減)	
	令和4年度		令和3年度		金 額 (C) (C = A - B)	増減率 (C/B× 100)
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比		
	円	%	円	%	円	%
<b>1 医業収益</b>	<b>8,254,461,639</b>	<b>80.8</b>	<b>7,979,351,350</b>	<b>77.1</b>	<b>275,110,289</b>	<b>3.4</b>
(1) 入院収益	5,165,579,065	50.6	4,948,164,348	47.8	217,414,717	4.4
(2) 外来収益	2,587,947,203	25.3	2,468,671,685	23.9	119,275,518	4.8
(3) その他医業収益	500,935,371	4.9	562,515,317	5.4	△ 61,579,946	△ 10.9
<b>2 医業外収益</b>	<b>1,951,744,613</b>	<b>19.1</b>	<b>2,372,680,355</b>	<b>22.9</b>	<b>△ 420,935,742</b>	<b>△ 17.7</b>
(1) 受取利息及び配当金	3,784,413	0.0	3,631,457	0.0	152,956	4.2
(2) 補助金	931,976,790	9.1	1,385,773,400	13.4	△ 453,796,610	△ 32.7
(3) 負担金交付金	658,537,971	6.5	647,623,597	6.3	10,914,374	1.7
(4) 長期前受金戻入	231,913,518	2.3	218,716,312	2.1	13,197,206	6.0
(5) その他医業外収益	125,531,921	1.2	116,935,589	1.1	8,596,332	7.4
<b>3 特別利益</b>	<b>4,563,313</b>	<b>0.1</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>4,563,313</b>	<b>皆増</b>
(1) 固定資産売却益	4,563,313	0.1	0	0.0	4,563,313	皆増
<b>事業収益合計</b>	<b>10,210,769,565</b>	<b>100.0</b>	<b>10,352,031,705</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 141,262,140</b>	<b>△ 1.4</b>
<b>合計</b>	<b>10,210,769,565</b>		<b>10,352,031,705</b>		<b>△ 141,262,140</b>	<b>△ 1.4</b>

(第3表) 比較貸借

科 目	借		方		対前年度増減	
	令和4年度		令和3年度		対前年度増減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C=A-B)	増減率 (C/B× 100)
	円	%	円	%	円	%
<b>資産の部</b>						
<b>1. 固定資産</b>	<b>8,873,605,044</b>	<b>46.5</b>	<b>9,122,338,972</b>	<b>51.0</b>	<b>△ 248,733,928</b>	<b>△ 2.7</b>
(1) 有形固定資産	8,811,490,803	46.2	9,059,857,931	50.7	△ 248,367,128	△ 2.7
ア. 土地	1,925,385,055	10.1	1,987,573,487	11.1	△ 62,188,432	△ 3.1
イ. 建物	5,454,837,735	28.6	5,641,133,996	31.5	△ 186,296,261	△ 3.3
ウ. 構築物	381,167,404	2.0	401,526,164	2.3	△ 20,358,760	△ 5.1
エ. 器械備品	1,005,717,974	5.3	985,589,139	5.5	20,128,835	2.0
オ. 車両	3,645,665	0.0	2,548,175	0.0	1,097,490	43.1
カ. リース資産	7,450,970	0.0	8,200,970	0.1	△ 750,000	△ 9.1
キ. その他有形固定資産	33,286,000	0.2	33,286,000	0.2	0	0.0
(2) 無形固定資産	3,582,964	0.0	3,582,964	0.0	0	0.0
ア. 電話加入権	3,582,964	0.0	3,582,964	0.0	0	0.0
(3) 投資その他資産	58,531,277	0.3	58,898,077	0.3	△ 366,800	△ 0.6
ア. 長期貸付金	3,888,000	0.0	3,528,000	0.0	360,000	10.2
イ. 長期前払消費税	52,601,217	0.3	53,612,077	0.3	△ 1,010,860	△ 1.9
ウ. その他投資	2,042,060	0.0	1,758,000	0.0	284,060	16.2
<b>2. 流動資産</b>	<b>10,213,931,033</b>	<b>53.5</b>	<b>8,767,451,805</b>	<b>49.0</b>	<b>1,446,479,228</b>	<b>16.5</b>
(1) 現金預金	8,134,607,773	42.6	7,219,907,990	40.3	914,699,783	12.7
(2) 未収金	2,052,885,176	10.8	1,518,002,095	8.5	534,883,081	35.2
(3) 貯蔵品	26,438,084	0.1	29,541,720	0.2	△ 3,103,636	△ 10.5
<b>資産合計</b>	<b>19,087,536,077</b>	<b>100.0</b>	<b>17,889,790,777</b>	<b>100.0</b>	<b>1,197,745,300</b>	<b>6.7</b>

対 照 表 (税抜き)

科 目	貸 方					
	令和4年度		令和3年度		対前年度増減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) (C=A-B)	増減率 (C/B× 100)
	円	%	円	%	円	%
<b>負債の部</b>						
<b>1. 固定負債</b>	<b>5,924,760,078</b>	<b>31.0</b>	<b>6,545,125,117</b>	<b>36.6</b>	<b>△ 620,365,039</b>	<b>△ 9.5</b>
(1) 企業債	4,346,042,631	22.7	5,112,438,832	28.6	△ 766,396,201	△ 15.0
(2) 引当金	1,578,717,447	8.3	1,432,686,285	8.0	146,031,162	10.2
ア. 退職給付引当金	1,578,717,447	8.3	1,432,686,285	8.0	146,031,162	10.2
<b>2. 流動負債</b>	<b>1,875,919,078</b>	<b>9.8</b>	<b>1,826,859,114</b>	<b>10.2</b>	<b>49,059,964</b>	<b>2.7</b>
(1) 企業債	937,896,201	4.9	971,540,166	5.4	△ 33,643,965	△ 3.5
(2) 未払金	575,946,829	3.0	531,070,927	3.0	44,875,902	8.5
(3) 引当金	302,306,320	1.6	265,319,804	1.5	36,986,516	13.9
ア. 賞与引当金	302,306,320	1.6	265,319,804	1.5	36,986,516	13.9
(4) その他流動負債	58,969,728	0.3	58,478,217	0.3	491,511	0.8
ア. 預り金	58,969,728	0.3	58,478,217	0.3	491,511	0.8
(5) 前受金	800,000	0.0	450,000	0.0	350,000	77.8
<b>3. 繰延収益</b>	<b>1,729,536,528</b>	<b>9.1</b>	<b>1,602,654,788</b>	<b>9.0</b>	<b>126,881,740</b>	<b>7.9</b>
(1) 長期前受金	5,323,629,464	27.9	4,970,684,206	27.8	352,945,258	7.1
(2) 収益化累計額	△ 3,594,092,936	△ 18.8	△ 3,368,029,418	△ 18.8	△ 226,063,518	△ 6.7
<b>負債合計</b>	<b>9,530,215,684</b>	<b>49.9</b>	<b>9,974,639,019</b>	<b>55.8</b>	<b>△ 444,423,335</b>	<b>△ 4.5</b>
<b>資本の部</b>						
<b>1. 資本金</b>	<b>2,820,875,157</b>	<b>14.8</b>	<b>2,550,202,157</b>	<b>14.2</b>	<b>270,673,000</b>	<b>10.6</b>
<b>2. 剰余金</b>	<b>6,736,445,236</b>	<b>35.3</b>	<b>5,364,949,601</b>	<b>30.0</b>	<b>1,371,495,635</b>	<b>25.6</b>
(1) 資本剰余金	464,256,301	2.4	408,599,530	2.3	55,656,771	13.6
(2) 利益剰余金	6,272,188,935	32.9	4,956,350,071	27.7	1,315,838,864	26.5
ア. 減債積立金	824,071,534	4.3	896,258,534	5.0	△ 72,187,000	△ 8.1
イ. 建設改良積立金	30,000,000	0.2	30,000,000	0.2	0	0.0
ウ. 未処分利益剰余金	5,418,117,401	28.4	4,030,091,537	22.5	1,388,025,864	34.4
<b>資本合計</b>	<b>9,557,320,393</b>	<b>50.1</b>	<b>7,915,151,758</b>	<b>44.2</b>	<b>1,642,168,635</b>	<b>20.7</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>19,087,536,077</b>	<b>100.0</b>	<b>17,889,790,777</b>	<b>100.0</b>	<b>1,197,745,300</b>	<b>6.7</b>

(第4表) キャッシュ・フロー計算書(税抜き)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー  
 医業収入等による現金の増減

(単位:円)

区 分	令和3年度	令和4年度	増 減
当年度純利益(△は当年度純損失)	1,878,456,143	1,586,511,864	△ 291,944,279
減価償却費	372,944,525	391,145,204	18,200,679
長期貸付金免除額	1,296,000	0	△ 1,296,000
長期前受金戻入額	△ 218,876,815	△ 232,082,823	△ 13,206,008
受取利息及び配当金	△ 3,631,457	△ 3,784,413	△ 152,956
支払利息及び企業債取扱諸費	119,763,005	104,779,899	△ 14,983,106
固定資産除却損	8,344,517	6,937,950	△ 1,406,567
固定資産売却損益(△は益)	0	45,476,419	45,476,419
未収金の増減額(△は増加)	1,118,552,214	△ 481,870,036	△ 1,600,422,250
未払金の増減額(△は減少)	△ 123,170,106	60,167,953	183,338,059
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 1,795,739	3,103,636	4,899,375
返還免除引当金の増減額(△は減少)	2,592,000	4,320,000	1,728,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	146,031,162	146,031,162	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 41,005,958	36,986,516	77,992,474
長期前払消費税	△ 8,983,936	△ 3,048,835	5,935,101
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 112,194	841,511	953,705
小計	3,250,403,361	1,665,516,007	△ 1,584,887,354
受取利息及び配当金	3,631,457	3,784,413	152,956
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 119,808,728	△ 104,779,899	15,028,829
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,134,226,090	1,564,520,521	△ 1,569,705,569

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー  
 施設整備等による現金の増減

(単位:円)

区 分	令和3年度	令和4年度	増 減
有形固定資産の取得による支出	△ 268,694,800	△ 239,023,051	29,671,749
有形固定資産の売却による収入	0	28,200,000	28,200,000
国・県補助金等による収入	72,289,000	3,509,000	△ 68,780,000
貸付金の貸付による支出	△ 4,333,300	△ 5,070,000	△ 736,700
貸付金の回収による収入	922,700	225,450	△ 697,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 199,816,400	△ 212,158,601	△ 12,342,201

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー  
 企業債の収入の増減等による現金の増減

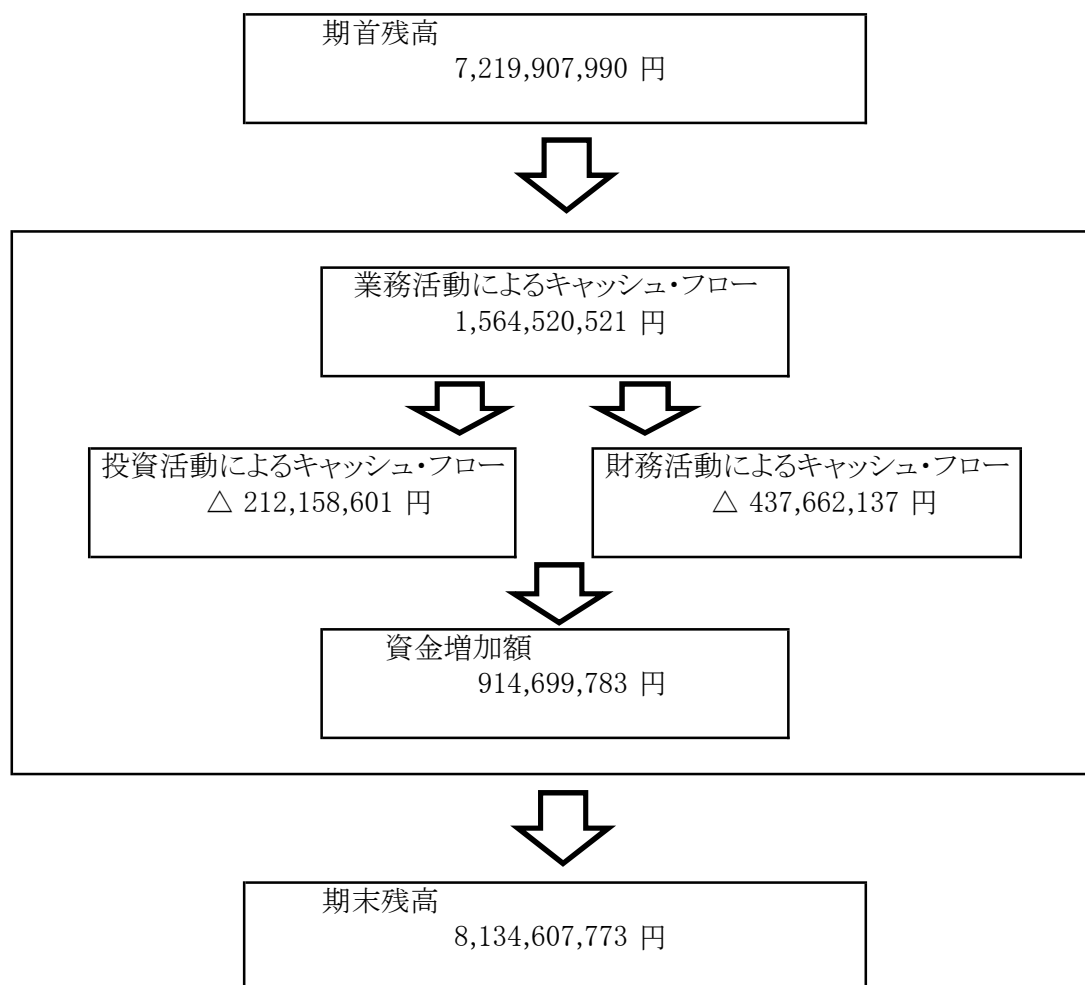
(単位:円)

区 分	令和3年度	令和4年度	増 減
企業債による収入	239,500,000	171,500,000	△ 68,000,000
企業債の償還による支出	△ 952,780,734	△ 971,540,166	△ 18,759,432
一般会計からの繰入金による収入	353,919,403	362,378,029	8,458,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 359,361,331	△ 437,662,137	△ 78,300,806

(単位:円)

区 分	令和3年度	令和4年度	増 減
資金増加額(又は減少額)	2,575,048,359	914,699,783	△ 1,660,348,576
資金期首残高	4,644,859,631	7,219,907,990	2,575,048,359
資金期末残高	7,219,907,990	8,134,607,773	914,699,783

# キャッシュ・フロー概況



<経営指標の推移>

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収支比率(%)	101.1	101.6	124.7	122.2	119.1
修正医業収支比率(%)	93.2	93.0	91.6	96.1	98.4
病床稼働率(一般)(%)	85.7	81.5	74.0	77.5	76.4
病床稼働率(精神)(%)	50.6	47.1	31.2	29.4	27.8
病床稼働率(感染症)(%)	0.0	0.0	7.8	2.8	4.0

**【経常収支比率】**

医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、病院活動による収益状況を示す指標

$$\text{算出式} = (\text{経常収益}) / (\text{経常費用}) \times 100$$

**【修正医業収支比率】**

病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標

$$\text{算出式} = (\text{医業収益} - \text{他会計負担金}) / (\text{医業費用}) \times 100$$

**【病床稼働率】**

年延病床数に対する年延入院患者数の割合を表し、病院の施設が有効に活用されているかを示す指標

$$\text{算出式} = (\text{年延入院患者数} / \text{年延病床数}) \times 100$$